

ZoomText 8.1	2	読み上げツールバー	24
必要なシステム	3	発声のオン/オフ	25
ZoomText のインストール	4	発声速度の調整	26
ZoomText の起動	6	キー入力エコー	28
ZoomText ユーザー インターフェイス	7	マウス エコー	29
ZoomText のオン/オフの切り替え	9	冗舌性	30
画面拡大ツールバー	10	AppReader	31
倍率の設定	11	DocReader	34
拡大画面の選択	12	SpeakIt ツール	38
拡大画面の調整	14	テキスト読み上げ機能	39
固定画面の使用	15	ホットキー	41
表示場所の使用	17	設定ファイル	52
画面色の補正	18	起動時設定	53
ポインタ強調	19		
カーソルの強調表示	20		
デスクトップ ファインダーの使用	21		
Web ファインダーの使用	22		

ZoomText 8.1 は、視覚に障害をもつコンピュータ ユーザーのためにデザインされた画面拡大ソフトウェアです。アプリケーション、ドキュメント、E メールやインターネットなどの文字や絵を見やすく拡大表示します。

ZoomText 8.1 には、次の 2 つのバージョンがあります。

Magnifier – 画面拡大機能単体のバージョン。

Magnifier/ScreenReader - 画面拡大機能と画面読み上げ機能を統合したバージョン。

このクイック リファレンス ガイドでは、インストールおよび ZoomText Magnifier および ZoomText Magnifier/ScreenReader のキー機能に役立つ情報を説明します。画面読み上げおよび発話に関する機能は、ZoomText Magnifier/ScreenReader でのみ使用することができます。

注意: このガイドでは、ZoomText 8.1 の機能の詳細情報を説明しません。詳細情報は、ZoomText ユーザーズ ガイドまたはオンライン ヘルプ システムを参照してください。オンライン ヘルプ システムを起動するには、ZoomText メニュー ツールバーの [ヘルプ] - [ZoomText ヘルプ] を選択します。

必要なシステム

ZoomText 8.1 を実行するには、次のシステムが必要になります。

- Pentium II またはそれ以上のプロセッサを搭載したパーソナル コンピュータ
- 次のいずれかのオペレーティング システム:

Windows® XP Home Edition	Windows® XP Professional
Windows® 2000 Professional	Windows® Me (Millennium Edition)
Windows NT® 4.0 (SP6)	Windows® 98 Second Edition
Windows® 98	
- 必要メモリ
128 MB 以上の RAM (256 MB を推奨)
- 必要ハードディスク
25 MB 以上の空き容量
- 画面の色
High Color (16 ビット) または True Color (24 または 32 ビット)
- CD-ROM ドライブ

注意: ZoomText 8.1 は、Windows® 95 をサポートしていません。

CD-ROM ドライブに ZoomText CD を挿入すると、セットアップ プログラムが自動的に実行されます。画面説明に従い、インストールを行います。

▶ 自動的に起動しない場合

1. Windows® の [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行...] を選択します。
2. CD-ROM ドライブを参照します。
3. 「setup.exe」を選択し、[開く] ボタンをクリックします。
4. [OK] ボタンをクリックします。

Windows® XP および Windows® 2000 および Windows NT® 4.0 への ZoomText のインストール

Windows® XP、Windows® 2000 または Windows NT® 4.0 でセットアップを実行する場合、ZoomText はシステム レベルのコンポーネントをインストールします。これらのコンポーネントをインストールするには、アドミニストレータ権限が必要です。この権限がない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

▶ ZoomText をアンインストールするには

1. ZoomText を実行していないことを確認します。
2. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [ZoomText 8.1] - [ZoomText 8.1 のアンインストール] を選択します。
3. 画面説明に従い、アンインストールを行います。

ZoomText をシステムにインストール後、次のいずれかの手順で ZoomText を起動します。

▶ ZoomText を起動するには



以下のいずれかを行ってください。

- Windows® のデスクトップで ZoomText 8.1 アイコンをクリックします。
- Windows® の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [ZoomText 8.1] - [ZoomText 8.1] を選択します。

ZoomText を起動すると、標準画面が拡大表示されます。マウスの移動、テキスト入力、およびアプリケーションの操作を行うと、拡大表示が自動的にスクロールされ、アクティブな領域が常に表示されます。

ZoomText Magnifier/ScreenReader をインストールした場合、文書で行われた動作を ZoomText が声に出して知らせます。ZoomText がアクティブな場合でも、すべての Windows® プログラムを通常どおり操作できます。

▶ ZoomText を終了するには

[ファイル] メニューの [終了] を選択します。

ZoomText ユーザー インターフェイス

ZoomText を起動すると、画面にユーザー インターフェイスが表示されます。ZoomText を操作するための調整は、すべてこのウィンドウから行えます。画面拡大および画面読み上げに関連する機能は、別のツールバーおよびダイアログに表示されます。

[画面拡大] タブ:

ZoomText の拡大機能をコントロールするツールバーを表示します。

[画面読み上げ] タブ:

ZoomText の画面読み上げ機能をコントロールするツールバーを表示します。

ヘルプ ツール

ZoomText ツールバーでクリックした項目の情報を表示します。



[ZoomText] ボタン

ZoomText のオン/オフを切り替えます。

最小化ボタン

ZoomText インターフェイスを非表示にします。

ZoomText の操作に影響を及ぼさずにユーザー インターフェイスを最小化し (隠し)、必要なときに再表示することができます。

▶ **ZoomText を最小化するには**

以下のいずれかを行ってください。

- 最小化ボタンを押します。
- ZoomText のユーザー インターフェイスがアクティブな状態で [ESC] キーを押します。

▶ **ZoomText を再表示するには**

以下のいずれかを行ってください。

- タスクバーの [ZoomText 8.1] ボタンを押します。
- ユーザー インターフェイスを表示するホットキー (CTRL + SHIFT + U) を押します。

ZoomText のオンオフの切り替え

ZoomText が起動している場合は、画面が自動的に拡大表示されます。プログラムを終了せずに、ZoomText のオン/オフを切り替えることができます。オフにすると、画面が標準の（拡大されていない）状態に戻ります。

▶ ZoomText をオンにするには

以下のいずれかを行ってください。

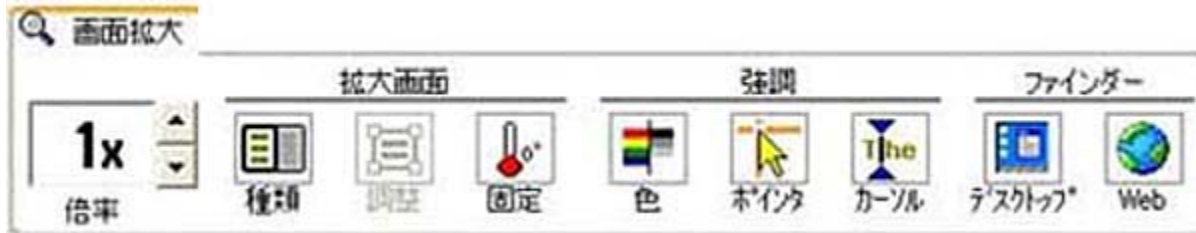
- ZoomText のユーザー インターフェイスで、[ZoomText] ボタンをクリックします。
- ZoomText の実行ホットキー (ALT + INSERT) を押します。

▶ ZoomText をオフにするには

以下のいずれかを行ってください。

- ZoomText のユーザー インターフェイスで、[ZoomText] ボタンをクリックします。
- ZoomText の停止ホットキー (ALT + DELETE) を押します。

[画面拡大] ツールバー（ユーザー インターフェイス）を使用すると ZoomText の画面拡大機能をすばやく利用することができます。各ツールバーのボタンには、機能の特徴を示すアイコンとラベルが書かれています。ボタンをクリックすると、ポップアップ メニューが表示され、使用頻度が高い設定にアクセスできます。関連するボタンはグループにまとめて表示され、グループのラベルをクリックすると、関連するダイアログ ボックスが表示されます。このツールバーに関連する機能は、11 ページから 23 ページで説明します。



画面拡大ツールバー

倍率の設定

ZoomText では、広範囲の倍率設定が可能で、必要に応じて表示の倍率を変更することができます。倍率の範囲は 1 倍から 16 倍までです。(1 倍から 8 倍までは 1 倍ずつ、10 倍から 16 倍までは 2 倍ずつ、さらに 1.25 倍、1.5 倍および 1.75 倍の小数倍率にも設定できます。)

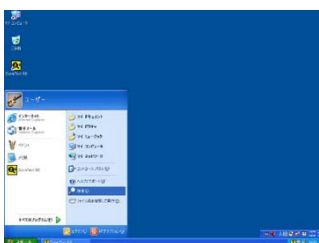
▶ 倍率を調整するには



倍率

[画面拡大] ツールバーの [倍率] ボックスで調整するか、または倍率ホットキーを使用します。

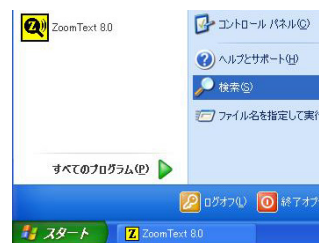
機能	キー
倍率を上げる	ALT + テンキーの +
倍率を下げる	ALT + テンキーの -



1 倍表示 (標準画面)



2 倍表示



3 倍表示

ZoomText には、全画面、オーバーレイ、レンズ、ラインおよび 4 種類の画面分割パターンの全 8 種類の拡大方法があります。それぞれ異なった表示方法で拡大表示します。用途およびアプリケーションの環境に応じて、いつでも拡大表示の方法を切り替えることができます。



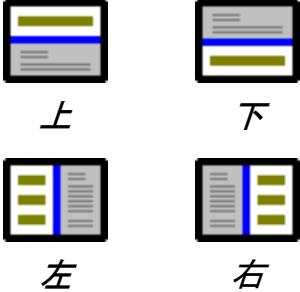
▶ 拡大画面を選択するには



[拡大画面] ツールバーで、[種類] をクリックし、拡大画面を選択します。拡大画面の種類を順に切り替える場合は、拡大画面ホットキー (CTRL + SHIFT + Z) を押します。

拡大画面の種類	
[全画面] は、画面全体を使用して拡大表示します。	
[オーバーレイ] は、サイズの変更や配置場所の移動ができ、画面のどの部分にでも配置することができます。	

拡大画面の選択(つづく)

拡大画面の種類	
<p>[レンズ] は、標準画面を虫眼鏡のように移動し、その真下にある部分を拡大表示します。マウス ポインタを動かしたり、テキスト入力およびプログラムを操作すると、自動的にレンズも移動します。</p>	
<p>[ライン] は、バールーペのように画面上を上下に移動し、真下にある部分を拡大表示します。マウス ポインタを動かしたり、テキスト入力およびプログラムを操作すると、自動的にラインも移動します。</p>	
<p>[画面分割] は、画面を半分に分割し、標準 (拡大表示されていない部分) の隣に、拡大した "分割" 部分を表示します。拡大表示部分を画面の端 (上、下、左、右) に表示することができます。</p>	

ZoomText の画面のサイズを変更したり、画面上での表示場所を変更することができます (全画面での拡大表示を除く)。

▶ 拡大画面のサイズの変更や移動を行うには



1. [画面拡大] ツールバーで、[調整] を選択します。
拡大画面の枠上にサイズ調整のためのハンドルが表示されます。
2. ウィンドウのサイズを変更する場合は、ハンドル (枠線上の白い点) をドラッグします。
3. ウィンドウ枠の中をドラッグすると、ウィンドウ枠を移動できます。
4. ウィンドウの表示内容をスクロールする場合は、[Ctrl] キーを押したままドラッグします。
5. 調整を終了するには、右クリックまたは [ESC] キーを押します。

注意: [全画面] 拡大表示の場合は、[調整] は選択できません。

[固定画面] を使用すると、別な場所を見たり操作しながら、ある特定の位置の情報も表示することができます。[固定画面] は、[全画面] 拡大表示の上に表示され、選択した定位置を表示します。[全画面] 拡大画面には、そのまま画面上のすべての範囲をスクロールし、表示することができます。

▶ [固定画面] を設定するには



1. 拡大画面の種類を [全画面] に設定します。
2. [画面拡大] ツールバーで、[固定] - [新規] を選択します。
3. マウス ポインタを移動させ、固定範囲として表示する部分までスクロールします。
4. ドラッグし、固定範囲を選択します。
[固定画面] が、サイズ調整ハンドルと枠で表示されます。
5. ウィンドウのサイズを変更する場合は、ハンドルをドラッグします。ウィンドウ枠の中をドラッグすると、ウィンドウを移動できます。ウィンドウの内容をスクロールする場合は、[Ctrl] キー を押したままドラッグします。
6. 固定ツールを終了するには、右クリックまたは[ESC] を押します。

注意: [固定画面] 調整には、[サイズ変更] を使用します。

- ▶ [固定画面] をオン/オフするには
[画面拡大] ツールバーで、[固定] - [使用可] (または [使用不可]) を選択します。

表示場所の使用

[表示場所] を使用すると、現在拡大されている画面上の範囲を表示し、拡大表示したい新しい範囲を選択することができます。[表示場所] の使用中は拡大表示はオフになり、拡大される範囲が標準画面で強調表示されます（拡大位置表示）。拡大位置表示を移動し、拡大表示したい新しい範囲を選択することができます。

▶ [表示場所] を使用するには

1. [操作] メニューで [表示場所] を選択します。

表示が一時的に標準に戻り、拡大される範囲が強調表示されます（拡大位置表示）。

2. 拡大位置表示を目的の位置に移動します。
3. クリックすると、新しい場所を拡大表示します。

拡大表示が元に戻り選択した範囲が表示されます。

拡大位置表示を様々な形や色で表示するように設定することができます。[オーバーレイ] または [画面分割] の拡大画面を使用している場合、画面上の標準（拡大なし）部分で表示することも可能です。

▶ 拡大位置表示を有効にし、設定するには

1. [画面拡大] メニューで [拡大位置表示...] を選択します。
2. 位置表示の各設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

画面色の補正を使用すると、画面表示がより見やすくなり、目の疲れが少なくなります。画面色の補正には、色、コントラストおよび明るさを調整する様々な効果の設定があります。あらかじめ登録されている代表例の中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

▶ あらかじめ登録されている代表例を選択するには



色

[画面拡大] ツールバーで、[色] - [代表例] を選択して該当する代表例を選択します。

▶ カスタム色の設定を行うには

1. [画面拡大] メニューの [画面色の補正...] を選択します。
2. [カスタム...] を選択します。
3. カスタム設定を調節します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

ポインタ強調により、マウス ポインタを見つけやすく、または目で追いやすくすることができます。マウス ポインタの大きさや色を調節することや、画面上のポインタ位置を強調して表示（ポインタ位置表示）することができます。あらかじめ登録された代表例から選択することや、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

▶ あらかじめ登録されているポインタの代表例を選択するには



[画面拡大] ツールバーで、[ポインタ] - [代表例] を選択して該当する代表例を選択します。

▶ カスタム設定のポインタを設定するには

1. [画面拡大] メニューの [ポインタ強調...] を選択します。
2. カスタム...] を選択します。
3. カスタム設定を調節します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

カーソル強調により、テキストカーソルを見つけやすく、または目で追いやすくすることができます。テキストカーソルの位置をその周囲の文字を隠すことなく分かりやすく表示します。あらかじめ登録されている代表例の中から選択したり、カスタム設定で独自の設定をすることができます。

▶ あらかじめ設定されているカーソルの代表例を選択するには



[画面拡大] ツールバーで、[カーソル] - [代表例] を選択して該当する代表例を選択します。

▶ カスタム設定のカーソル強調を設定するには

1. [画面拡大] メニューの [カーソル強調...] を選択します。
2. [カスタム...] を選択します。
3. カスタム設定を調節します。
4. [OK] ボタンをクリックします。

デスクトップ ファインダーの使用

デスクトップ ファインダーは、クイック起動バー、システムトレイ、およびコントロール パネルを含む Windows デスクトップ環境にあるプログラムおよび文書を探して開く際に役に立ちます。デスクトップ ファインダーを実行すると、デスクトップ環境にある項目の一覧が表示されます。この一覧で表示項目の抽出および検索を行なうと、目的の項目をよりすばやく検出することができます。デスクトップ ファインダーの [動作] から、項目を開いたり、項目のプロパティを表示することができます。

▶ デスクトップ ファインダー を使用するには



1. [画面拡大] ツールバーで、[デスクトップ] を選択します。
[デスクトップ ファインダー] ダイアログが表示されます。
2. [表示項目] および [並べ替え] でオプションを選択し、[デスクトップ項目] での検索の絞り込みや並べ替えを行います。
3. 検索を絞り込む場合は、[検索] コンボ ボックスに検索する情報を入力するか、またはコンボ ボックスの一覧から最近入力した項目を選択します。
4. [デスクトップ項目] の一覧から目的の項目を選択します。
5. 選択した項目を開く場合は、[開く] ボタンをクリックします。また、選択した項目のプロパティを表示する場合は [プロパティ] ボタンをクリックします。

Web ファインダーは、Internet Explorer、HTML 形式のメール、および HTML ヘルプ等に含まれるリンクやコントロールを探す際に役に立ちます。Web ファインダーを実行すると、Web ファインダーが実行する直前にアクティブであった HTML 文書のリンクやコントロールの一覧がダイアログ ボックスに表示されます。目的の項目を素早く見つけられるように、この一覧で表示項目の抽出および検索を行うことができます。Web ファインダーの [動作] から、選択したリンク先の表示、リンクやコントロールのスクロール、または AppReader を使用してリンクやコントロールの読み上げを始めることができます。

▶ Web ファインダーを使用するには



Web

1. [画面拡大] ツールバーで、[Web] を選択します。
[Web ファインダー] ダイアログが表示されます。
2. [表示項目] および [並べ替え] でオプションを選択し、[Web ページ項目] の一覧で絞り込みおよび並べ替えすることができます。
3. 検索を絞り込む場合は、[検索] ボックスに検索する情報を入力するか、またはコンボ ボックスの一覧から最近入力した項目を選択します。
4. [Web ページ項目] の一覧で項目を選択します。

5. [リンク実行] ボタンをクリックすると、選択したリンクのリンク先が表示されます。[そこへ移動] ボタンをクリックすると、選択した項目までスクロールします。[ここから読上げ] ボタンをクリックすると、AppReader が選択した項目部分を読み始めます。

[読み上げ] ツールバー（ユーザー インターフェイス）を使用すると ZoomText の画面読み上げ機能をすばやく利用することができます。各ツールバーのボタンには、機能の特徴を示すアイコンとラベルが書かれています。ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示され、使用頻度が高い設定にアクセスできます。関連するボタンはグループにまとめて表示され、グループのラベルをクリックすると、関連するダイアログ ボックスが表示されます。このツールバーに関連する機能は、24 ページから 40 ページで説明します。



画面読み上げツールバー

発声のオン/オフ

拡大機能を有効にしたまま、発声機能のオン/オフを切り替えることができます。

▶ 発声をオン/オフにするには



[読み上げ] ツールバーで [発声] - [使用可] (または [発声] - [使用不可]) を選択します。または発話のオン/オフ切り替えホットキー (ALT + SHIFT + S) を押します。

注意: AppReader、DocReader および SpeakIt ツールは、発声機能がオフの場合も使用することができます。

例えば、既知のメッセージ ダイアログを ZoomText が読み上げる場合など、発声を途中で終了したい場合があるかもしれません。このような場合に発声機能全体をオフにしなくともその文の読み上げを中止させることができます。

▶ 途中で発声機能に発声機能を停止するには

[CTRL] キーを 1 度押します。

現在読み上げられている情報の読み上げを中断します。

ZoomText の発声速度を調整することができます。(一分間に読む単語数)。

▶ 発声速度を調整するには



[読み上げ] ツールバーの [速度] ボックスでレベルを調整します。または発声速度のホットキーを使用します。

機能	キー
発声速度を上げる	CTRL + テンキーの +
発声速度を下げる	CTRL + テンキーの -

これとは別に AppReader および DocReader の発声速度を設定することができます。この設定は、[読み上げ] ダイアログ ボックスから設定することができます。[読み上げ] メニューの [読み上げオプション...] を選択するとこのダイアログが表示されます。

注意: 声、音程、および音量を含む設定をシンセサイザー設定で行うことができます。これらの設定を行うには、[読み上げ] メニューの [シンセサイザー...] を選択します。

シンセサイザー設定

シンセサイザー設定では、画面読み上げの際に使用する声をカスタマイズすることができます。男性、女性の様々な声の中から選択し、読み上げ速度、音程、声の大きさを調整することができます。

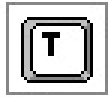
注意: ZoomText には、TruVoice、ViaVoice および Microsoft Speech のスピーチ シンセサイザーが含まれています。ZoomText のセットアップ プログラムを使用し、これらのシンセサイザーの組み合わせをインストールすることができます。ZoomText は、システムにすでにインストールされている SAPI ベースのシンセサイザーもサポートします。

▶ スピーチ シンセサイザーの設定を変更するには

1. [読み上げ] メニューの [シンセサイザー...] を選択します。
2. [発声を使用する] ボックスがチェックされていることを確認します。
3. シンセサイザーと声を選択し、速度、音程、大きさを調整します。
4. シンセサイザーの設定をプレビューするには、[サンプル文] ボックスにテキストを入力し、[サンプル読み上げ] をクリックします。
5. [OK] ボタンをクリックします。

キー入力エコーを使用すると、入力したキーおよび単語を音声で聞くことができます。特定のキーか単語、またはキーと単語の両方を読み上げるかを選択することができます。単語が入力されたと判断された時点で (スペースや句読点の入力後すぐに) 読み上げます。キー入力エコーの追加設定で、すべてのキーを読み上げるかまたは選択したグループのキーだけを読み上げるか、などを選択することができます。

▶ キー入力エコーをオンにするには



キー

[読み上げ] ツールバーで、[キー] を選択し、該当するキー入力エコー モードを選択します。

▶ [キー入力エコー] オプションを変更するには

1. [読み上げ] メニューで、[キー入力エコー...] を選択します。
2. キー入力エコー オプションの設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

マウス エコーはポインタの真下にある部分を自動的に読み上げます。画面上でポインタを移動すると、単語1つまたは行全体を、移動直後またはしばらくカーソルの移動を停止した場合に読み上げます。

▶ マウス エコーをオンにするには



マウス

[読み上げ] ツールバーで、[マウス] を選択し、該当するマウス エコー モードを選択します。

▶ マウスの移動オプションを変更するには

1. [読み上げ] メニューの [マウス・エコー...] を選択します。
2. マウス エコー オプションの設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

冗舌性は、プログラム コントロールがアクティブになるかまたは強調表示された場合に読み上げる情報量を調整します。プログラム コントロールには、アプリケーションや文書のウィンドウ、メニュー、ダイアログ、ボタン、アイコンなどが含まれます。

冗舌性のレベルには、初級、中級、上級の 3 段階があり、簡単にレベルを変更することができます。情報量は初級レベルでは多めに、上級レベルでは少なめになります。各冗舌性レベルは、必要に応じてカスタマイズすることができます。

▶ 冗舌性のレベルを選択するには



[読み上げ] ツールバーで、[冗舌性] を選択し、該当する冗舌性レベルを選択します。

▶ 冗舌性オプションを設定するには

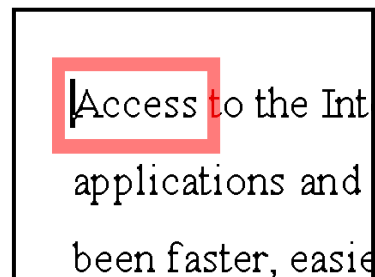
1. [読み上げ] メニューの [冗舌性...] を選択します。
2. 冗舌性オプションの設定を変更します。
3. [OK] ボタンをクリックします。

AppReader は、親アプリケーションの画面上で文書、Web ページおよび E メールを読み上げます。AppReader を起動および終了しても、文書の見た目は変わりません。文書の編集作業と読み上げを瞬時に切り替えることができます。

AppReader は、文書全体を自動的に読み上げることができます。また、単語、行、文または段落ごとに手動で読み上げることも可能です。読み上げ中は、読み上げられている単語が強調表示されます。AppReader 設定を使用すると、強調部分の形状、サイズ、色および透明度といった、単語の強調表示の方法をカスタマイズすることができます。

▶ AppReader 設定を変更するには

1. [読み上げ] メニューの [AppReader...] を選択します。
2. AppReader の設定を変更します。
3. [OK] ボタンを選択します。



AppReader 強調表示

▶ AppReader を起動し、操作するには



AppRdr

1. 読み上げる文書、Web ページ、または E メールを表示します。
2. AppReader ホットキー (ALT + SHIFT + A) を押します。または ZoomText の [読み上げ] ツールバーで [AppRdr] ボタンを押します。

AppReader が現在のカーソル位置からテキストを読み始めます。テキストカーソルがない場合は、そのページの最初の単語を強調表示して一時停止した状態で起動します。

注意: アクティブなアプリケーションに読み上げ可能なテキストが存在しない場合、[AppRdr] ボタンおよび [操作] メニューの [AppReader 起動] は無効 (グレー表示) となります。

3. 自動読み上げ機能を開始、終了するには、[ENTER] を押すか、マウスをクリックします。

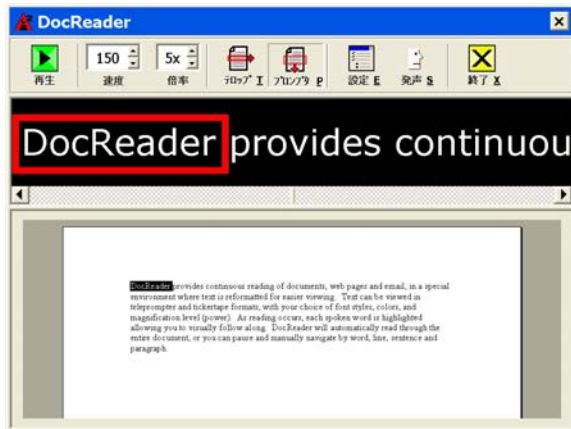
マウスを使用している場合は、読み上げたい単語をクリックして新しい場所から読み上げを再開することができます。

6. 手動で読み上げるには、AppReader 操作コマンドを使用します。(詳細は、42 ページの「AppReader および DocReader」を参照してください)。

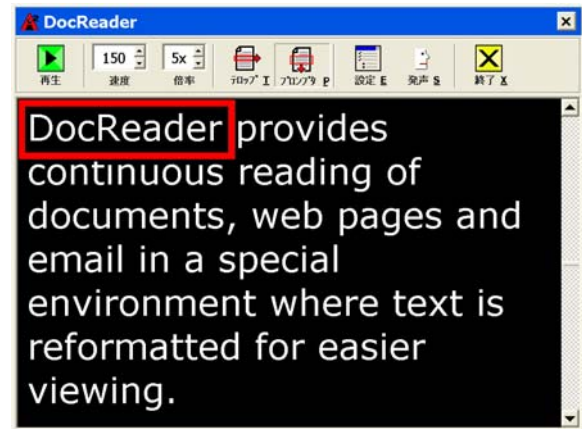
7. AppReader を終了するには、右クリックまたは [ESC] を押します。
AppReader が終了すると、AppReader で最後に強調表示されていた単語にカーソルが自動的に移動します。(カーソルがある場合)

DocReader は、文書、Web ページ、および E メールテキスト部分を別画面に見やすくなれば、なおして、途切れなく読み上げます。テキストは、選択したフォント、色、強調方法、および倍率で、テロップまたはテレプロンプタ形式で表示されます。

DocReader は文書全体を自動的に読み上げることができます。また、単語、行、文または段落ごとに手動で読み上げることができます。読み上げ中は、読み上げられている単語が強調表示されます。



テロップ モード



プロンプタ モード

▶ DocReader を起動し、操作するには



DocRdr

1. 読み上げる文書、Web ページ、または E メールを表示します。
2. DocReader ホットキー (ALT + SHIFT + D) を押します。または ZoomText の [読み上げ] ツールバーで [DocRdr] ボタンを押します。

もとの文書のテキストを表示して DocReader が起動します。もとの文書にアクティブなテキストカーソルがある場合、カーソル位置にある単語が DocReader 内で強調表示されます。そうでない場合は、DocReader 画面の最初の単語が強調表示されます。

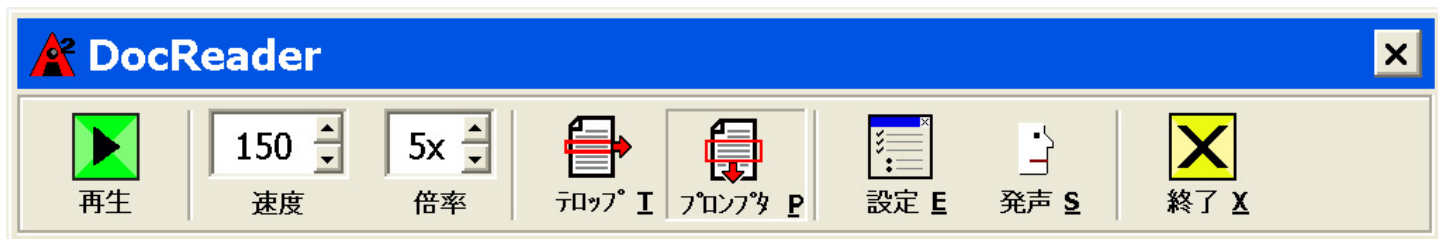
注意: アクティブなアプリケーションが読み上げ可能なテキストを含んでいない場合、[DocRdr] ボタンおよび [操作] メニューの [DocReader] は無効 (グレー) となります。

3. 読み上げを開始および停止するには、[再生] または [停止] ボタンをクリックするか、[ENTER] キーを押します。
停止状態で新しい位置をクリックしてから読み上げ開始の操作をすると、選択した単語から読み上げが再開されます。
4. 手動で読み上げるには、DocReader の操作コマンドを使用します (詳細は、42 ページの「AppReader および DocReader」を参照してください)。

5. DocReader を終了するには、右クリックまたは [ESC] を押します。
DocReader が終了すると、DocReader で最後に強調表示されていた語にカーソルが自動的に移動します。(カーソルがある場合)

DocReader (つづい)

DocReader の操作は、DocReader ツールバーで行います。また、DocReader 表示を設定するダイアログも、DocReader ツールバーから表示します。



DocReader のツールバー

再生 / 停止: 強調表示されている単語で、文書の読み上げを開始または停止します。

速度: DocReader の読み上げ速度を調整します (一分間に読み上げる単語数)。

倍率: DocReader で使用する倍率を調整します。1 から 16 倍の倍率範囲で設定します。

テロップ: 取り込んだもとの文書を 1 倍 (標準) 表示しながら、テキストを 1 行表示します。

プロンプタ: DocReader 画面の幅を超えないようにテキストを折り返し、複数の行にして表示します。読み上げ中は、テレプロンプタのように垂直方向にスクロールします。

設定: DocReader の設定を変更するために、[読み上げ] ダイアログ ボックスを表示します。

発声: [発声] ダイアログ ボックスを表示し、発声の設定を変更します。

終了: DocReader を終了し、もとのアプリケーションに戻ります。

SpeakIt ツールを使用して、画面上のマウスのクリックやドラッグで選択した範囲を読み上げることができます。アクティブなプログラムのものでなくても、画面上のすべてのテキストを読み上げることができます。注意: グラフィック イメージに表示されているテキストは読み上げられません。

▶ SpeakIt ツールを使用するには



SpeakIt

1. [読み上げ] ツールバーで、[SpeakIt] ボタンをクリックします。
または、SpeakIt ツールのホットキー (ALT + SHIFT + I) を押します。
2. 一単語を読み上げるには、単語をクリックします。
3. まとまったテキストを読み上げるには、テキストをドラッグして反転させます。
マウス ボタンを放したときに、反転したすべてのテキストが読み上げられます。
4. SpeakIt ツールを終了するには、右クリックまたは [ESC] を押します。

テキスト読み上げ機能

テキスト読み上げコマンドを使用すると文書の作成および編集集中に文書进行操作することができます (単語、行、文または段落レベルで行うことができます)。これらのコマンドを使用している場合、コマンドに応じてテキストカーソルが移動します。例えば、[次の文の読み上げ] コマンドを押すと次の文の初めにカーソルが移動して、文全体が読み上げられます。次の表では、読み上げコマンドについて説明します。

注意: テンキーを使用する ZoomText コマンドを使用する場合は、[Num Lock] はオフにしてください。

テキスト読み上げ機能	キー
前の文字の読み上げ	左矢印
現在の文字の読み上げ ◆	テンキーの 5
次の文字の読み上げ	右矢印
前の単語の読み上げ	CTRL + 左矢印
現在の単語の読み上げ ◆◆	CTRL + テンキーの 5
次の単語の読み上げ	CTRL + 右矢印
前の文の読み上げ	CTRL + ALT + 左矢印
現在の文の読み上げ	CTRL + ALT + テンキーの 5
次の文の読み上げ	CTRL + ALT + 右矢印

テキスト読み上げ機能 (つづく)	キー
前の行の読み上げ ◆◆◆	上矢印
現在の行の読み上げ	SHIFT + テンキーの 5
次の行の読み上げ ◆◆◆	下矢印
前の段落の読み上げ	CTRL + 上矢印
現在の段落の読み上げ	CTRL + SHIFT + テンキーの 5
次の段落の読み上げ	CTRL + 下矢印

- ◆ [現在の文字の読み上げ] コマンドを 2 回押すと、通話表示 ("Alpha, Bravo, Charlie, ...") に文字を読み上げます。
- ◆◆ [現在の単語の読み上げ] コマンドを繰り返し入力すると、次のように実行されます。
 - 1 回目: 単語を読み上げる
 - 2 回目: 単語のスペルを読み上げる
 - 3 回目: 単語のスペルを通話標識に読み上げる ("Alpha, Bravo, Charlie, ...")。
 注意: コマンドを順に繰り返す場合は、2 秒以内にキーを押す必要があります。
- ◆◆◆ このコマンドは、プログラム エコー設定の [新しい行へテキスト・カーソルが移動したときの読み上げ] オプション設定により、現在の単語または行全体を読み上げます。

ホットキーは、ZoomText のユーザー インターフェイスを使わずに ZoomText のコマンドを実行させるキーの組み合わせです。ZoomText のほとんどの機能にはホットキーが設定されていて、他のアプリケーションの操作中でも ZoomText を制御することができます。

ZoomText のホットキーの特徴は、次のとおりです。

- 他のプログラムとの競合を避けるためにホットキーを変更したり、無効にしたりすることができます。
- キーとマウスの両方を使用したホットキーを定義することもできます。
- 1 つのホットキーに、複数の機能を割り当てることはできません。

各ホットキーは、1 つ以上のモディファイア キーと 1 つのプライマリ キーから成り立っています。モディファイア キーは、[ALT]、[CTRL]、[SHIFT] および Windows キーの組み合わせです。プライマリ キーには、モディファイア キー以外のキーまたはマウス ボタンが使用できます。

▶ ホットキーを変更するには

1. [設定] メニューの [ホットキー...] を選択します。
2. [ホットキーの種類] と [機能] を選択します。
3. ホットキーの組み合わせを変更します。
4. 複数のホットキーを変更する場合は、ステップ 2 と 3 を繰り返します。
5. [OK] ボタンをクリックします。

AppReader および DocReader

一般的な機能	キー
AppReader の起動	ALT + SHIFT + A
DocReader の起動	ALT + SHIFT + D
読み上げの切り替え (起動/停止)	ENTER
倍率を上げる	ALT + テンキーの +
倍率を下げる	ALT + テンキーの -
読み上げ速度を上げる	CTRL + テンキーの +
読み上げ速度を下げる	CTRL + テンキーの -
停止	CTRL
終了	ESC

AppReader および DocReader (つづく)

操作機能	キー
前の単語の読み上げ	CTRL + 左矢印、または左
現在の単語の読み上げ ◆	CTRL + テンキーの 5、またはスペース バー
次の単語の読み上げ	CTRL + 右矢印、または右矢印
上の単語の読み上げ	上矢印
下の単語の読み上げ	下矢印
前の文の読み上げ	CTRL + ALT + 左矢印
現在の文の読み上げ	CTRL + ALT + テンキーの 5
次の文の読み上げ	CTRL + ALT + 右矢印
前の段落の読み上げ	CTRL + 上矢印
現在の段落の読み上げ	CTRL + SHIFT + テンキーの 5
次の段落の読み上げ	CTRL + 下矢印
行頭の単語の読み上げ	HOME
行末の単語の読み上げ	END

AppReader および DocReader (つづく)

操作機能 (つづく)	キー
ページを上へ移動	Page Up
ページを下へ移動	Page Down
文書の始め	CTRL + HOME
文書の終わり	CTRL + END
次のリンク	TAB
前のリンク	SHIFT + TAB
リンクを開く	CTRL + ENTER

- ◆ [現在の単語の読み上げ] コマンドを繰り返し入力すると、次のように実行されます。
 - 1 回目: 単語を読み上げる
 - 2 回目: 単語のスペルを読み上げる
 - 3 回目: 現在の単語のスペルを通話表式に読み上げる ("Alpha, Bravo, Charlie, ...")。注意: コマンドを順に繰り返す場合は、2 秒以内にキーを押す必要があります。

ホットキー

設定ホットキー

機能	キー
設定 1…9 を読み込み	ALT + SHIFT + 1…9

倍率

機能	キー
倍率を上げる	ALT + テンキーの +
倍率を下げる	ALT + テンキーの -

拡大ツールバー

機能	キー
拡大種類	CTRL + SHIFT + Z
ウィンドウ調整ツール	CTRL + SHIFT + A
固定画面のオン/オフ	CTRL + SHIFT + F
画面色の補正のオン/オフ	CTRL + SHIFT + C
ポインタ強調のオン/オフ	CTRL + SHIFT + P
カーソル強調のオン/オフ	CTRL + SHIFT + R
デスクトップ ファインダー	CTRL + SHIFT + D
Web ファインダー	CTRL + SHIFT + W

その他

機能	キー
拡大位置表示のオン/オフ	CTRL + SHIFT + L
表示場所のオン/オフ	CTRL + SHIFT + V
文字の補正の切り替え	CTRL + SHIFT + T
拡大画面へマウスを移動	CTRL + SHIFT + B
マウス位置へ拡大画面を移動	CTRL + SHIFT + Y
パススルー (次の ZoomText ホットキー)	ALT + PAUSE
AHOI のオン/オフ	CTRL + ALT + SHIFT + A
AHOI 状況レポート	CTRL + ALT + SHIFT + S
ZoomText の画面キャプチャ	CTRL + ALT + SHIFT + C
カーソル検出	CTRL + ALT + SHIFT + D
MSAA のオン/オフ	CTRL + ALT + SHIFT + M
追従機能のオン/オフ	CTRL + ALT + SHIFT + T
スクリーンモデルのアップデート	CTRL + ALT + SHIFT + U

読み上げツールバー

機能	キー
読み上げ機能のオン/オフ	ALT + SHIFT + S
発声速度を上げる	CTRL + テンキーの +
発声速度を下げる	CTRL + テンキーの -
キー入力エコー	ALT + SHIFT + T
マウス エコー モード	ALT + SHIFT + M
冗舌性レベル	ALT + SHIFT + V
AppReader の起動	ALT + SHIFT + A
DocReader の起動	ALT + SHIFT + D
SpeakIt ツール	ALT + SHIFT + I

画面読み上げ

機能	キー
ウィンドウのタイトルの読み上げ	CTRL + ALT + W
ダイアログのタブの読み上げ	CTRL + ALT + T
ダイアログのメッセージの読み上げ	CTRL + ALT + M
フォーカスの読み上げ	CTRL + ALT + F
デフォルト ボタンの読み上げ	CTRL + ALT + B
グループ名の読み上げ	CTRL + ALT + G
ステータス バーの読み上げ	CTRL + ALT + X
すべて読み上げ	CTRL + ALT + A
選択されたテキストの読み上げ	CTRL + ALT + S
セルの列のタイトルの読み上げ	CTRL + ALT + R
セルの行のタイトルの読み上げ	CTRL + ALT + K
セルの式の読み上げ	CTRL + ALT + O
セルのコメントの読み上げ	CTRL + ALT + C

画面読み上げ (つづく)

機能	キー
現在の時刻の読み上げ	CTRL + ALT + I
日付の読み上げ	CTRL + ALT + Y
クリップボードの読み上げ	ALT + SHIFT + C
音声停止	ALT + SHIFT + Q、または CTRL
シンセサイザー エンジンの変更	ALT + SHIFT + E

ユーザー インターフェイス

機能	キー
ZoomText の実行	ALT + INS
ZoomText の停止	ALT + DEL
ユーザー インターフェイスを表示	CTRL + SHIFT + U
ヘルプ ツール	CTRL + SHIFT + H

スクロール

機能	キー
上にスクロール	ALT + 上矢印
下にスクロール	ALT + 下矢印
左にスクロール	ALT + 左矢印
右にスクロール	ALT + 右矢印
上端に移動	ALT + PageUp
下端に移動	ALT + PageDown
左端に移動	ALT + HOME
右端に移動	ALT + END
画面の中心に移動	ALT + テンキーの 5
拡大位置を保存	ALT + テンキーの /
拡大位置を復元	ALT + テンキーの *

ZoomText の設定は、設定ファイルを使用して保存および復元することができます。設定ファイルは、倍率、拡大画面の種類、画面強調、およびホットキーといったすべての ZoomText の機能を調整します。複数の設定ファイルを保存することができ、いつでもメニューから呼び出せます。

▶ 設定を設定ファイルに保存するには

1. ZoomText の各機能を設定します。
2. [ファイル] メニューの [設定を保存する...] を選択します。
既存の設定ファイルを表示した [設定を保存する] ダイアログが表示されます。
3. [ファイル名] 欄に新しい設定ファイルの名前を入力します。
4. [開く] ボタンをクリックします。

▶ 設定ファイルをロードするには

1. [ファイル] メニューの [設定を開く...] を選択します。
[設定を開く] ダイアログが現れ、既存の設定ファイルが表示されます。
2. 目的の設定ファイルを選択します。
3. [開く] ボタンをクリックします。

ZoomText を起動すると、起動時用の設定ファイルである Zx8.zxc が自動的に読み込まれます。このファイルには、ZoomText の機能の初期設定が含まれています。ZoomText の起動時にカスタム設定を組み込むように、起動時用の設定ファイルを作ることができます。ビルドイン設定を変更した後も初期設定ファイルを使用すれば簡単に設定を戻すことができます。

▶ **カスタムの起動時設定を保存するには**

1. ZoomText の各機能を設定します。
2. [ファイル] メニューの [起動時設定として保存] を選択します。
3. 現在の起動時設定を上書きする場合は、[はい] を選択します。

▶ **オリジナルの起動時設定ファイルを復元するには**

1. [ファイル] メニューの [初期値に戻す] を選択します。
2. 現在の起動時設定を上書きする場合は、[はい] を選択します。

